

「群青について」

本校の校歌「群青はるか、玄海に」とあるように、玄海の海の色で、校訓「玄海の海の魂」にも対し、本校スクールカラーともなっている。（題字は山近博幸初代校長）

群青



「歩み続ける」香住生であれ

校長



卒業生の皆さん、卒業おめでとうございませう。

皆さんは、本校に入学以来三年間、校訓「玄海の海如く、雄々しく、美しく」のもと、どんな時も、自らの「志」実現に向け、弛まぬ努力を積み重ねてきました。この日を迎えることができたことを心から喜ぶとともに、これまでの三年間を支えてくださった御家族や周囲の方々へ感謝の気持ちをぜひ伝えていただきたいと思っています。

「風が吹けば波が立ち、波が激しければしぶきを受ける。波を受け、しぶきをかぶっても、舵取りさえ確かなら目的の港に入ることができるとは人生を「航海」に例えた松下幸之助氏（現在のパナソニックグループ創業者）の言葉です。まさに皆さんが活躍する社会は、グローバル化、情報化、技術革新等の進展や新型コロナウイルス等の影響による変化を予測することが困難な局面を迎えています。私は、そうした変革期を生き抜いていくために必要なことは、皆さん一人一人が自らの「志」実現に向け、ただひたすらに歩み続ける力だと考えます。卒業後の進路は、皆さん一人一人それぞれ異なります。皆さんそれぞれがこれからの人生という「航海」のなかで、新たな出会いや経験を重ねながら自らの航路を歩み続けることでしょうか。しかし、時には、予測しない風が吹き荒れ、行く先を見失いそうになるときや立ち止まることもきつとあるでしょう。そのような時は、本校での学びを礎として、進むべき方向について、自問自答するとともに、周囲の方々から助言を得るなどして、しっかりと「舵取り」を行い続けられ、自らの目指す「港」つまり、皆さんが思い描く「豊かな人生や社会」の実現へと導いてくれるはずです。決して、あきらめることなく歩み続けてください。そして、香住丘高校で過ごした三年間を思い出し、ください。必ず、皆さんは、一歩ずつ成長し、これからの自らの「航海」においてしっかりと「舵取り」を行う力を持つことができると信じています。皆さんの健康と活躍を祈ります。

最後になりましたが、保護者の皆さんには、これまでの本校の教育活動やPTA活動の振興に御理解、御協力を賜り、深く感謝申し上げますとともに、今後とも本校に対しまして御支援賜りますようお願い申し上げます。御挨拶いたします。

一年を振り返って

PTA会長



保護者の皆様におかれましては、日頃よりPTA活動にご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

今年はず年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、自粛生活が強いられる中、校長先生を始め各先生方が熟考され、子どもたちのために、少しでも多くの行事を計画していただき、高校生活での良き思い出作りが出来る

たのではないかと感じております。子どもたちが、制限された生活の中で、時には不満をぶつけ合いながらも、それぞれの想いを尊重し、数多くの困難をたくましく乗り越えてきた姿は、私たち保護者の目には、輝いて見えました。必ずや、今後の社会を担う活躍をしていくと確信しています。

最後になりましたが、一年間、保護者の皆様のお力添えのおかげで、PTA会長を務めさせていただくことが出来ましたこと、心より感謝申し上げます。

数理コミュニケーションコース近況報告

数理コミュニケーションコース主任

同窓会ならびに保護者の皆様におかれましては、平素より本校数理コミュニケーションコースの活動へ御理解と御協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、数理コミュニケーションコースでは10年間にわたるSSH研究開発事業で培われたノウハウを活かし、今年度も様々な行事を実施しました。6月の香煙祭では、全学年協力して科学実験・ビタゴラススイッチの製作に取り組みました。上手くいかないことも試行錯誤しながら支えあって乗り越え、最高の作品を作り上げました。本校HPにて動画を掲載しておりますので、是非御覧ください。

また、本年度も九州大学をはじめとして、様々な大学と連携し、研修を実施しました。新型コロナウイルス感染症防止のため、リモート形式や会場の分散等様々な制限がありました。大学の先生方や数理コミュニケーションコースのOB・OGの方々へ講義、実験の実演、相互研究発表会等を実施していただき、生徒たちにとつては科学的思考力を高めながら、将来を考える貴重な機会となりました。さらに、課題研究においても、高大連携課題研究発表会（九州工業大学主催）で5チームが最優秀賞、第65回日本学生科学賞（読売新聞社主催）福岡県審査で2チームが最優秀賞を受賞するなど、多数の発表会でその成果を存分に発揮しました。

数理コミュニケーションコースの行事や探究活動を通して、生徒たちが科学的思考力と、論理的に現象の原因を考察し研究に粘り強く挑む力を増や高めている姿を大変嬉しく思います。そして、この意志を後輩たちが引き継ぎ、数理コミュニケーションコースの行事や探究活動がさらに発展していくことを期待しています。

今後とも数理コミュニケーションコースの教育活動に御理解、御協力をいただきますようお願い申し上げます。



英語劇復活！ 英語ディベート県大会1、2位独占！ 英語ディベート九州大会初優勝！

英語学科主任



香住丘高校の保護者の皆様、同窓会の皆様、誠にありがとうございます。日頃より英語学科の活動に御支援と御声援を賜り、心より御礼申し上げます。

福岡県の緊急事態宣言が明けて通常の学校生活を取り戻しつつありますが、世界では新型コロナウイルス感染症への対応は国によって異なっており、変異株と人類・科学との闘いは予断を許さない状況です。英語科では創意工夫をしながら、生徒が本校で活躍できる場、青春を謳歌できる体験を何とか実施できないかを職員で模索し続けました。令和3年度の英語科では、同窓会、PTA、学校のご協力を賜り、多くの行事を実施することができました。まずは7月、2年振りに開催された本校の文化祭「香住祭」での英語劇「ザ・グレート・ショーマン」の上演と、8月に普通科・英語科の1年生から3年生の希望者で行った「夏エンパワメントプログラム」です。この二つの行事は、生徒にとっては一回りも二回りも大きく成長する素晴らしいチャンスとなりました。英語劇は、2年英語科が中心となり、2年生全員で監督・演出・照明・音響・ビジュアル作成・大道具・先生との交渉など、全て生徒の力で実行しました。今年は特にディレクターと幹部の生徒たちが感染症対策と熱中症対策に注意を払いながら苦勞して制作・仕込まれたミラクルを上演することができました。一般公開はできませんでしたが、校内でZoom配信され、またYouTube撮影もしていたため、保護者に見ていただく機会をもつことができました。入学以前からの行事を詳しくみていただいた生徒も多く、英語科の1、2年生が英語科らしさを十分に発揮して上演成功を成し遂げてくれました。また、「エンパワメントプログラム」は、東京大学大学院や九州大学大学院などに留学されているアフリカ、ヨーロッパ、東南アジア出身の外国人の先生方と3日間を過ごす英語演劇プログラムでした。同窓会からの奨学金の援助を頂き、約40人の生徒が、このコロナ禍で外国人の方と直接コミュニケーションを取りながら「アイデンティティ」

や「真のリーダーシップ」についてディスカッションし、プレゼンやスピーチをすることができた貴重な機会となりました。プログラムの開催に至っては、感染症対策と三密を避けるための対策、そして台風などの心配がありました。ギリギリまで実施の判断を待っていたこと、無事に実施させていたこと、陸ながらサポートしていたこと、本心に感謝しております。

さて、皆様に嬉しい報告があります。10月23日の「第20回福岡県高等学校英語ディベート大会」で、英語科2年生がなんと、優勝・準優勝の両方を勝ち取りました。決勝戦が香住VS香住で行われたのは6年前の英語科22期生（香住丘31期生）以来です。そして、福岡県代表として本校から2チームが出場した11月の「第17回九州地区高等学校英語ディベート大会（オンライン開催大会）」では、数々の全国大会常連の強豪校との対戦を制して、見事！香住丘高校開校以来、初めての九州大会優勝を勝ち取ることができました。そして昨年は公式実施がなされた12月の「第16回全国高等学校英語ディベート大会」に連続出場を果たし、2日間の激戦の予選6試合で2勝2敗2スプリットという過去最高の成績を残して準々決勝に進出することができました。今年の論題は「日本は、首都機能を東京の外に移転すべきである。是か非か」でした。英語ディベートは3月の論題発表から、授業や総合学習を通じて約10か月取り組んで来ました。いつも私は中学校の保護者や生徒さんに「香住の英語科では英語ディベートで英語の4技能が急激に伸びます。そして、それと同じくらいに多角的なものの見方や論理的な思考力、そして人間で堂々と自分の意見を英語で伝えるだけの強さや自信が身につくんですよ！」とお伝えしています。実際、この準備型の英語ディベートを通して、生徒が英語で議論を書くスピード、英語での質疑応答のスピードが速くなり、英語で話す量が格段に増え、英語表現力やディベートを深めるのに欠かせない批判的思考力が急激に伸びていく瞬間を何度も目の当たりにしています。英検準1級の合格者が増えるのもこのシーズンからです。ディベートは「知の格闘技」と言われています。各県の強豪校の生徒、ネイティブスピーカーと互角のスピードで高速バトルのように英語を押し立ててくる対戦相手も次から次へと登場してくるわけです。ディベートを始めると聞かない時は、ただただ冷や汗がでるだけです。この2年生も、4月当初は質疑応答も10秒程度、後は無口！でした。ところが、丁寧なネイティブスピーカーの先生のアドバイス、スモール・ステップを踏む準備、チームで協力して集めるエビデンス整理、そしてスピーキング練習を重ねて、気が付けば、授業でのディベートの試合が県大会レベルまで引き上げられているのです。また、香住の英語科の生徒が素晴らしいのは、一部の生徒だけが伸びるのではなく、クラス全体の英語力が伸び、ディベート大会などにも個性を伸ばして出場している生徒がたくさん出てくることです。毎年見せてくれる、香住の英語科の生徒の成長力は、本当にAmazing Quality（信じられないくらい美しい）その瞬間を保護者の皆様や英語科OBに見ていただきたく、と本心に思います。英語科の生徒はまさに、香住で「英語を通じて、青春している」「英語科」です。代々の英語科の先輩から受け継いでいる「英語科」のガシをバージョンアップさせて、さらに後輩へつなげて、新しい後輩たちがまた、香住の英語科で青春を謳歌している姿を思い浮かべながら、私たち英語科のスタッフもしっかりと支えていきます。今後とも香住丘高校英語科の活躍に御期待ください。

「香住丘高校・小さな博物館」の開館

理科・生物



北海道産アンモナイトのノジュール



オオセンザンコウ



特別天然記念物 アマミノクロウサギ



特別天然記念物ライチョウ（夏毛・冬毛）

実験室に是非お立ち寄りください。また保護者の方が所有されている「行き場のない標本」等がありましたらご連絡ください。

本校は歴史が浅く、伝統校が所有しているような生物標本が少ない状況でした。そのような中、筑紫丘高校から貴重な標本の譲渡や私が採取・収集した標本を展示し、「Kasunibeak Little museum」を設置することに至りました。展示スペースが限定されていることから、陳列ケースだけではなく生物実験室にも多くの珍しい標本を展示しています。博物館（博物館）は教育の一端を担うことから、標本にはあえてCaptionを付けず、学名と詳しい解説を別シートにし、生態を想像し楽しみながら、生物に興味関心が高められるように工夫しています。標本の中には、絶対に入手できない特別天然記念物のアマミノクロウサギやライチョウ（夏毛・冬毛）の剥製、アンモナイトの化石など現世生物から絶滅生物、関係書籍まで、様々な自然の偉業を力バリーしています。軟体動物の貝類の殻は、数多く所有していますが展示スペースの関係で文化祭時のみ展示としています。また、生体としてスッポン、ウスラ、ウサギ、ハムスター、フライングシュリンプなども飼育しています。来校の際には、管理棟1階生物

香燿祭

2021.7.8

香燿祭を終えて

香燿祭実行委員長 3年9組

今年度の香燿祭のテーマは奏〜成し遂げる〜でした。新型コロナウイルスの影響により様々な制限がありました。大きな問題なく成し遂げられたことを言ばしく思っています。今までにない形式で香燿祭を行うにあたって、クラス・部活のリーダーや実行委員の皆さんを中心としたほとんど0からのスタートとなりました。話し合いを重ねて企画を練った準備期間を含めて、香燿祭が一人一人の思い出に残ることを願っています。





実行委員会



MY Challenge

保健体育科教諭

学校生活において行事というものは、いつまでも脳裏で焼き続ける何物にも代えがたい財産。それらを体験させてあげられなかったこと、教師として、それ以前に一人の大人として生徒達に心の底から申し訳なく思います。

今年度の体育祭が動き始めた5月末。唯一、香住丘の体育祭を経験した学年として、後輩に香住丘の伝統の素晴らしさを受け継ぎたいという熱い思いを持った生徒達が実行委員、ブロック役員として大勢集まってくれ、従来のやり方が通じないという大きな壁に態度もぶつかりながら、新たなものを創り出そうと必死に準備を進めてくれました。段々と本番へのイメージが持てるようになり始めた8月6日、本県でもコロナウィルスの感染状況が厳しくなり、体育祭の活動をストップし、開催を延期せざるを得なくなりました。そして8月末、2年連続中止という結論に至りました。中止の知らせを聞いたときどんなに悔しかったか。生徒達にとっては一生に一度なのです。気休めにもならないかもしれないけれど、1つだけ伝えてさせてください。本番まで経験させてあげることができなかったけれど、ここまで歩んだ軌跡は必ず、これからの新時代を駆け抜けていく君達、そして来年度君達の意志を継いでくれるであろう後輩達の確かな道標となります。予定していたよりも短い期間でしたが、君達と本気で過ごしたこの短い夏は、私の脳裏で焼き続ける何物にも代えがたい財産となりました。本当にありがとう。

誰のせいでもない。時代を恨むことはできない。だからこそ、このやり悔のない感情に大人でさえ涙み込まれてしまいそうなのに、生徒達は、ただ黙々と受験というハードルのその先に待つ新たなスタート地点に向かって走っています。大切なものは何をしたかではなく、今何をするか。今何に情熱を燃やせるか。今何に全力になれるか。今何に心動かされるか。彼らの姿に改めて大切なことを気づかせてもらいました。

またいつか、大声で笑って泣いて、満面の笑顔で肩を打ち合い喜びを分かち合えるその日まで、ただ前を向いて共に走ろう。ハードルが倒れても、こけても、今は越えられなくても気にする暇なんてない。その瞬間にも、今そして未来は変えられるのだから。



総務

卒業

3回

85名

桜の花が
咲く季節
卒業生
のみなさん
へ
おめでとう
と
お祝い
します。




Dees,
not words.

卒業おめでとう!!
Imagination means
working without doing.
You can do it!

強く、優しく
熱く生きて、自分を
自分たうめるものと
出会って下さい。

卒業おめでとう!
良い人生を!

卒業おめでとう!
libenter homines id
quod volunt credunt
Julius Caesar


35期生と共に教員卒業しす
一期一会



おめでとう!!



人間万事
壘輪が馬



またいつの日か、
再会できることを
楽しみにしています!

3年1組



3年2組



3年3組



3年5組



3年4組



3年10組



3年9組



3年8組



3年7組



Congratulations

May you have a bright future!!

Best wishes on your new adventure!

あなた自身
あなたにかか
わる人を幸せに
する人生を歩
む!

Seize the day.

笑門来福

謙
虚
さ
を
志
す
に

政めはければ
チャンスはほろい
く挑戦も勝利

今こそ羽ばたけ
明るい未来へ!!

1年間おめでとう
卒業おめでとう!!

幸せな人生を!

3年6組



祝

第3

卒業生

日程表

行程	
第1日 11/4(木)	博多駅 ⇒ 鹿児島中央駅 ⇒ 昼食 ⇒ (9:00発) (10:33着)
	知覧特攻平和会館 ⇒ 知覧武家屋敷 ⇒ ホテル (13:15~) (15:00~) (17:00着)
第2日 11/5(金)	ホテル ⇒ 有村岩窟展望台 ⇒ 桜島港 ⇒ (8:00発) (8:50~) (10:10フェリー)
	鹿児島港 ⇒ 尚古集成館 ⇒ 仙巖園 ⇒ (10:29) (10:50~) (12:40~)
	昼食 ⇒ 鹿児島中央駅 ⇒ 博多駅 (15:25着) (17:03着) @ 17:30現着



修学旅行



修学旅行で感じたこと

2年9組

私は、今回の修学旅行を通して、平和な日々のありがたみを実感しました。私たちは、知覧特攻平和会館で、講話を聴き、隊員方の遺品を見ました。当時の状況を知り、私たちの平穏な毎日の背景に、多くの尊い命があることを忘れずに生きていこうと思いました。

歴史のある様々な場所を巡り、友人と過ごしたことで、有意義な二日間となりました。この経験から学んだことを、生活に役立てていきたいです。



部活動紹介

香住丘高校全 30部、日々頑張る皆さんを紹介します



陸上競技部



サッカー部



野球部



女子テニス部



男子テニス部



女子ハンドボール部



男子ハンドボール部



女子バレーボール部



男子バレーボール部



女子バスケットボール部



男子バスケットボール部



卓球部



薙刀部



剣道部



水泳部



弓道部



柔道部



吹奏楽部



写真部



生物部



茶華道部



ESS部



書道部



数学部



物理部



パソコン部



放送部



文化部



化学部



美術部

新生徒会



生徒会の活動と抱負

こんにちは。生徒会長の
です。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、行事において規模が縮小されたり、中止されたりと、悔しい一年となりました。これからも、いつ何が起るかは分かりません。しかし、学校生活の充実、また同級生・先輩・後輩と良い関係を築くには、行事はとても大切です。

我々第36期生徒会は、生徒の意見を出来る限り多く取り入れ、「生徒主体」の行事をより一層目指したいと思えます。

健全育成委員会

健全育成委員会の活動について紹介させていただきます。本年度は登校指導・暴力団追放・薬物乱用防止講演会の参加、部活動大掃除・地域清掃活動を行っております。

先日行いました清掃活動では、委員全員が参加し、先生方やPTA 役員の方々、部活動生徒の皆さんと一緒に、香椎浜海岸のゴミ拾いを行いました。

地域の方々に、気持ち良い挨拶をしながら清掃活動を行う、生徒の皆さんの姿を見る事ができ、心身共に気持ち良い時間を過ごせました。常日頃から、指導を行ってくださる先生方に、この場を借りてお礼申し上げます。



国際交流委員会

コロナ禍での活動

例年、国際交流委員会では、海外からの留学生を受け入れ一緒に日本文化を楽しむ活動を行って来ました。

しかし、今なお続くコロナの影響で今年も留学生の受け入れが出来ず、来年度以降は未経験の委員だけで対応する事となり、強い不安の声が上がりました。

そこで予定していた浴衣の着付けや茶道の練習を変更し、留学生受け入れ経験のある3年の委員を中心に1日の流れについて詳しく説明を受けたり、5~6人のグループに分かれてロールプレイングをするなど実践的な活動を行いました。

話し合いの中で宗教におけるタブーや和菓子を提供する際はアレルギーに留意する事など細かい点まで確認しました。雑談も交えながら和やかな雰囲気の中で情報の引き継ぎが出来ました。



PTA役員会

平素より、本校のPTA活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

PTAの活動につきまして、以下の通りご報告申し上げます。

4/19	学年委員会(役員・各種専門委員会)、新合同委員会	10/20	PTA 連合会福岡県指導者研修会(会長のみ参加)
4/24	PTA 総会	10/23	PTA 研修会(観劇)参加
6/11	第1回役員会	11/24	PTA 連合会福岡地区研修会(会長と学校より2名での参加)
7/2	第2回役員会	11/26	第2回役員・理事会
8/25	第70回全国高等学校PTA連合会大会オンライン配信	12/11	部活動大掃除参加
9/10	第1回役員・理事会	12/17	応援グッズ袋詰め作業
10/4	第3回役員会	1/14	受験生応援グッズ配布
10/17	オープンスクール オータムミーティング(保護者向け説明会)	1/11	第4回役員会
10/19	講演会(暴力団排除)参加	3/3	第5回役員会(予定)
		4/4	第6回役員会(予定)

予餞会においては、ぜんざい等をPTA役員より振舞っておりましたが、コロナ禍ということもあり、一昨年より応援グッズを受験生へ配布しています。グッズにつきましては、福岡農業高校が製作している「合格する梅」のポテトチップスを、地域貢献を考慮し近隣の西鉄ストアより購入しております。また、受験生がリフレッシュできればと、ホットアイマスクに手作りの絵馬を製作し、一緒に配布致しました。



福利厚生委員会

10月23日土曜日、先生方を含む35名でPTA研修「親睦観劇会宝塚歌劇団の博多座公演」を開催しました。舞台は、新月月組による「川霧の橋」「Dream Chaser」で、困難に立ち向かいながらも懸命に生きていくというメッセージがあり、勇気もらえるような内容でした。

従来のPTA研修は、バスツアーで大学や企業の見学、昼食会などを行っていましたが、感染防止の観点から今回はこのような形式で行いました。それでも休憩時間などに初対面の方々との談笑ができて、「今日は来てよかった」などの声も聞けて有意義な時間を過ごせました。今後、コロナが終息した時には保護者が交流を深められるような企画を考えていきたいと思います。



編集後記 調査広報委員会

群青54号より、12月発行であった年度後半の号が3月発行に変わりました。変更を提案して下さった学校と、変更柔軟に対応して紙面を作り上げた委員の皆さんに、この場を借りて感謝申し上げます。前例のないことで、各方面にご心配をおかけし、紙面も未熟な点があるかと思いますが、それはひとえに私の力不足で、お詫びいたします。

生徒の学校生活も保護者の委員会活動も、今まで当たり前だったものが変わりました。編集作業では、コロナ禍でも出来ることを楽しみ、マスク越しでも輝く生徒の日常を垣間見ることが出来ました。このようにしなやかに前進する香住生は、どんな未来が来ても大空へ羽ばたけると感じ、力をもらいました。

この「群青54号」を読んでいただいた皆さまの明日が幸せなものであることを、心よりお祈り申し上げ、編集後記とさせていただきます。



(写真は委員有志が校内を取材した時に撮影したものです。)